

未来に向かって環境のトータルアドバイザー

# RIKKA REPORT

立華工業株式会社 静岡県富士市本市場 422 01 〒416-0906 : 清水営業所  
TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654 URL <http://www.rikka.co.jp> E-mail [info@rikka.co.jp](mailto:info@rikka.co.jp)

1. 環境省から「廃棄物焼却灰の洗浄に伴う排水等における放射性物質の濃度測定要請」が出されました。

## 《調査事項》

- ①焼却灰の洗浄等に伴う排水の有無
- ②排水の放流先
- ③放流水の放射性物質濃度測定結果

2. 廃棄物等の放射能の調査・測定法暫定マニュアルが作成されました。

★放流水、焼却灰、汚泥等の放射性物質の濃度測定を、承っております。  
サンプル形態、価格、納期等、お問い合わせください。

お問い合わせは、下記担当部署にお願いいたします。

**富士本社 環境分析部 加藤雅士・城所 亨**  
**営業部 望月久彰**

富士市本市場422の1 TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654

1. 環境省から「廃棄物焼却灰の洗浄に伴う排水等における放射性物質の濃度測定要請」が出されました。(平成 23 年 11 月 2 日)

A. 調査事項

- ①焼却灰の洗浄等に伴う排水の有無
- ②排水の放流先
- ③**放流水の放射性物質濃度測定結果**

B. 対象

公共用水域（河川・海域）へ放流している廃棄物の焼却施設又は焼成施設等を設置している市町村及び一般・産業産業廃棄物処理業者、産業廃棄物処理施設設置事業者

C. 報告方式

下記報告形式（例）にて

（記入例）産業廃棄物焼却灰の洗浄等に伴う排水等状況報告書

項目	記入欄
1. 事業者名及び事業場	
2. 施設の種類	焼却施設 ・ 焙焼施設
3. 事業場所在地	
4. 焼却灰の洗浄等の有無	有 ・ 無
5. 焼却灰の洗浄等の種類 （該当するもの全てを選択）	ア 受入れ焼却灰の洗浄 イ 焼却後の焼却灰の洗浄 ウ 焼成後の焼却灰の洗浄 エ 焼却灰の飛散防止のための散水に伴う排水 オ その他（ ）
6. 排水の公共用水域への放流の有無	有 ・ 無
7. 排水の放流先	河川 ・ 海洋 ・ その他（ ）
排水の放射性物質濃度測定結果	
8. 試料採取日	月 日（ ）
9. 測定結果	濃度 [Bq/L]
測定対象	
測定結果	セシウム 134
	セシウム 137
検出下限値	セシウム 134
	セシウム 137

D. 提出先

都道府県の廃棄物行政主管部(局)

（静岡県は、県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課産業廃棄物班）

2. 廃棄物等の放射能の調査・測定法の暫定マニュアルが作成されました。

(平成 23 年 11 月 11 日)

(独) 国立科学研究所を中心に「廃棄物等の放射能調査・測定研究会」が設けられ、マニュアルが作成されました。

※マニュアルは(独) 国立環境研究所のホームページに掲載されております。

<http://www.nies.go.jp/shinsai/index.html>

A. 適用対象物質

平成 23 年 3 月における福島第一原子力発電所事故で放出された核種のうち、比較的高濃度に検出されている核種「セシウム 134」「セシウム 137」「ヨウ素 131」です。これをもとに、これら 3 つの放射性核種におけるガンマ線を測定対象として適用しています。但し、ヨウ素 131 は半減期が短いことから、測定を実施しても検出される可能性がない場合には、測定対象から省略しています。

B. 暫定マニュアルで評価すべき濃度と測定対象核種ごとの検出下限濃度

	放射能の種類	評価すべき濃度	検出下限濃度
排ガス	セシウム 134	20 Bq/m <sup>3</sup> N	2 Bq/m <sup>3</sup> N
	セシウム 137	30 Bq/m <sup>3</sup> N	3 Bq/m <sup>3</sup> N
	ヨウ素 131	10 Bq/m <sup>3</sup> N	1 Bq/m <sup>3</sup> N
灰の埋立処分	セシウム 134	8,000 Bq/Kg	20 Bq/Kg
	セシウム 137		
汚泥肥料の原料	セシウム 134	200 Bq/Kg	
	セシウム 137		
上下水処理等副次産物の利用	セシウム 134	100 Bq/Kg	
	セシウム 137		
汚泥定量限界	セシウム 134	40 Bq/Kg(※)	
	セシウム 137		
廃水・浸出水	セシウム 134	60 Bq/L (Bq/kg)	
	セシウム 137	90 Bq/L (Bq/kg)	
	ヨウ素 131	40 Bq/L (Bq/kg)	
受け入れ廃棄物	放射性セシウム(セシウム 134+セシウム 137)の組成比による加重平均	240 Bq/kg (湿重量ベース)	セシウム 134 40Bq/kg(※) (湿重量ベース)
			セシウム 137 40Bq/kg(※) (湿重量ベース)

※可能であれば 20Bq/Kg としています

C. 試料採取ならびに輸送時の注意事項

- ①試料を取り扱う場合は、皮膚を露出しない専用の着衣、履物、ゴム手袋を着用する。また、ゴム手袋は試料ごとに交換し、汚染にあった場合には、速やかに着衣を交換してください。
- ②試料採取前には、予備測定としてサーベイメーターにより試料から1cmでの線量当量率を確認します。
- ③バックグラウンド値を減じて0.1  $\mu$  Sv/h を越えている場合には、測定機関に必要な試料量を問い合わせし、必要量以上に採取は行わないでください。
- ④試料輸送時も、梱包箱の破損、試料の漏えいに注意し、梱包箱表面からバックグラウンド値を減じて、1 m で0.1  $\mu$  Sv/h を超えないようにしてください。

D. 採取作業等で使用した保護具、容器の処分における注意事項

サンプル採取で使用した保護具、容器等はサーベイメーターで表面汚染密度を測定し、1,000 c p m以下であれば通常の廃棄物として処分し、1,000 c p mを超える場合は、放射能汚染物質として管理処分してください。

※弊社では、お客様からお預かりし、分析後に余剰となりましたサンプルは、基本、お客様にご返却致します。